

園長辞令

2024. 4. 5

4月1日（月）に着任かと思ったら、2日（火）からだった。1日（月）は、辞令交付とお世話になる所管課への挨拶だけだった。

4月1日（月）の午前中は、何だか感慨深かった。特にすることがない時間だった。数年後に、仕事をしなくなれば、こういう時間が増えるのか。そんなことを考えた。まだ洗濯機に洗濯物がたまっていないのに、つつい洗濯をしてしまった。干すのは、あつという間だった。

昼時が近くなり、スーツに着替えた。やはり、この方が落ち着く。13時30分からの辞令交付に間に合うように家を出た。だいぶ余裕がある。案の定、早く着きすぎた。駐車場で時間をつぶす。そろそろいいか。7階の会場にエレベーターで行く。会場には、係の方がいらした。挨拶をする。椅子がたくさん並んでいる。こんなに人が来るのか。5人のはずだが。どうやら、午前中の新任職員辞令交付式の名残らしかった。

予定通り、5人の新しい幼稚園長がそろった。辞令交付式が始まった。担当所管課がかわると、式の進め方も変わることを知った。よくニュースなどで見る県や市の式そのものだった。今までの教員の世界とは、ちょっと違った。

辞令には、「公立学校職員（任期付）に任命し園長に補する」「幼稚園長（任期付）を命ずる」「任期は令和11年3月31日までとする」とあった。任期は、5年間である。これが、幼稚園長をやることにした理由の一つでもある。年金が支給される年齢までの仕事として、一応保証される。ただし、幼稚園が存続できればの話だが。これが、大きな課題である。

4月2日（火）初出勤日の朝を迎えた。今までの習慣だろうか。予定よりも早く起きてしまった。鍵をもっていない。早く行っても開けることができない。中途半端な落ち着かない時間が生まれた。とりあえず、新聞に目を通す。そろそろ行ってみるか。わかってはいたが、10数分で着いてしまった。まだ早い。しばらく時間をつぶす。

頃合いを見て、駐車場を後にする。玄関から入る。どこに靴を置こうかと思ったら、ちゃんと表示がされていた。数日前に購入した新しい上履きに足を入れる。今回の上履きは、かかとの部分に特徴があり、立ったまま履くことができる。これが決め手となって買うことにした。履き心地は、すこぶるよい。

職員室に入る。いよいよ、園長先生としての業務が始まった。まずは、パソコンである。これが越えなければならぬハードルの一つである。今までのシステムとは違う。慣れるまでには、時間がかかりそうである。今回は、文房具を最小限に抑えた。それを机の引き出しに納める。なんだかんだとやっているうちに、職員会議開始時刻の9時が近づいてきた。「園長より」の資料は、家で作ってきた。まもなく9時である。